

2023年11月20日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 北原 睦朗

「UCDAアワード2023」で「UCDAアワード2023」 「アナザーボイス賞」「総合賞（ブロンズ）」を同時に受賞！

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗）は、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会が「優れたコミュニケーションデザイン」を表彰する「UCDAアワード2023」において、「UCDAアワード2023」「アナザーボイス賞」「総合賞（ブロンズ）」を同時に受賞しました。

	受賞区分	受賞対象
UCDAアワード2023 （最優秀賞に該当）	コミュニケーション デザイン※ ¹	商品パンフレット「一時金型Mタイプ」 動画「一時金型Mタイプの給付金の活用例」
アナザーボイス賞※ ²	デジタル	「KENCO SUPPORT PROGRAM（ケンコウ・ サポート・プログラム）」※ ³ アプリ
総合賞（ブロンズ）	企業表彰	上記を含めた1年間のユニバーサルコミュニ ケーションデザイン活動

※1：映像・WEB・印刷物から2点以上を組み合わせお客様にご案内するものが対象。

※2：生活者の評価が特に高いものに贈られる賞。

※3：中小企業の健康経営実践を総合支援するツールで、ご自身のスマートフォンやパソコンで利用可能。

<https://www.daido-life.co.jp/knowledge/healthfund/program.html>

今回は、わかりやすい商品パンフレットと動画、不慣れな方でも直感的にサービスを利用できるアプリを高く評価いただきました。当社は、今後も引き続きお客様の立場に立った業務運営の実践に努めてまいります。

<ご参考>「UCDAアワード」受賞歴（過去3年間）

年度	受賞内容	受賞対象
2020	アナザーボイス賞	保険金・給付金の請求書
	情報のわかりやすさ賞	医療保険のパンフレット（法人用）
	特別賞	医療保険のパンフレット（個人用）
2021	アナザーボイス賞	大同インフォメーション（印刷物）と 「ご契約内容のお知らせ」の説明（動画）
2022	アナザーボイス賞	「会社みんなでKENCO+」の商品パンフレット
	特別賞	つながる手続（WEBによる非対面手続）の手続き画面

・UCDAアワード

企業・団体が生活者に提供する様々な情報媒体を、産業・学術・生活者の集合知により開発した基準を使用して「第三者」が客観的に評価し、優れたコミュニケーションデザインを表彰するものです。

・一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会 (<https://UCDA.jp/>)

産業・学術・生活者の重層的な議論によって「わかりやすさ」の基準を策定し、情報コミュニケーションが生活者にとって「見やすく、わかりやすく、伝わりやすい」デザインになっているかを評価・認証する国内唯一の第三者機関です。

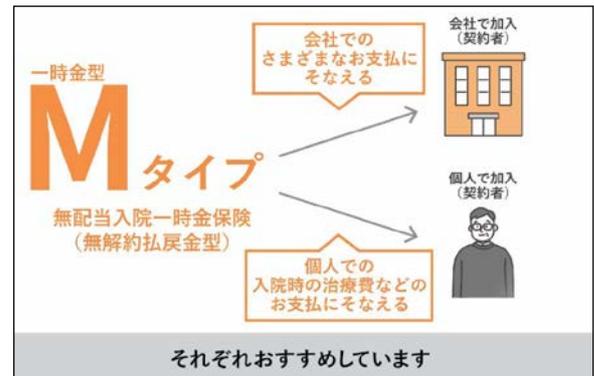


商品パンフレット「一時金Mタイプ」 動画「一時金型Mタイプの給付金の活用例」

<パンフレットイメージ>



<動画イメージ>



お客さまの声などを踏まえて工夫したポイント

- ・「パンフレット」は、文字だけでは理解しづらい箇所にイラストや図を多用。特に紙面での説明が難しい内容は、二次元コードで動画へ誘導することで、情報量を削減。
- ・「動画」は、全体のトーンをパンフレットと統一。アニメーションやAIボイスを活用し、商品の特徴や活用方法をわかりやすく説明。
- ・パンフレットと動画の相互補完により、お客さまの理解を促進。

受賞理由

- ・「パンフレット」は情報量を抑え、二次元コードで動画へと誘導している。
- ・パンフレットとデザインが統一された「動画」は、わかりやすいストーリーと聞きやすいナレーションで、重要なポイントを理解しやすい。
- ・媒体の特徴を活かした相互補完により、「法人契約の医療保険」に対する理解を深める、優れたコミュニケーションデザインツールである。

KENCO SUPPORT PROGRAM アプリ

<アプリトップ画面イメージ>



お客様の声などを踏まえて工夫したポイント

- ・ 情報を絞り込んだシンプルな表示や、わかりやすいアイコンの配置により、「高い視認性」と「直感的な操作」を実現。
- ・ ガイダンスに沿って操作することで、誰でも迷わずに利用開始可能。
- ・ 自らの健康状態を簡単に把握できるよう、日々の様々なバイタルデータ（歩数・歩行距離・睡眠時間など）の履歴を可視化。
- ・ 楽しみながら健康管理ができるよう、実績や達成状況をわかりやすく色分けし、継続利用を促進。

受賞理由

- ・ スマートフォンの画面に最適化されたデザインで、アプリに不慣れな方や世代でも直感的に利用できる。
- ・ グラフやビジュアルの色彩設計は特に工夫が見られ、「健康促進」に欠かせない各種データが見やすく比較しやすい。